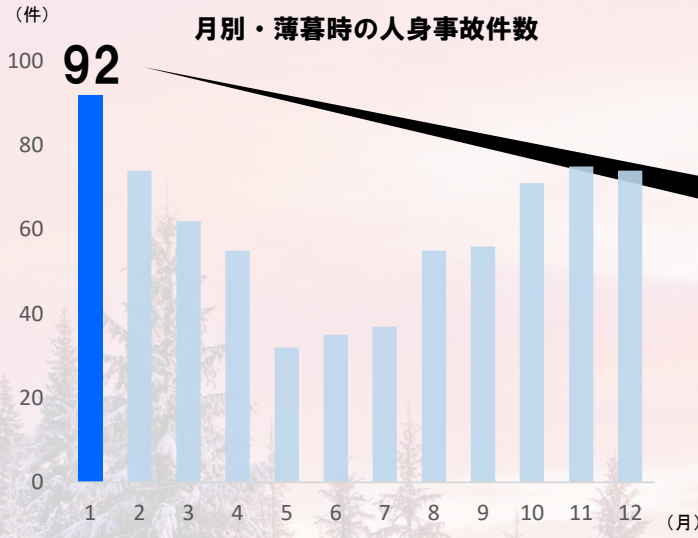


新年も交通事故防止のポイントを参考に、事故のないよい年にしましょう。

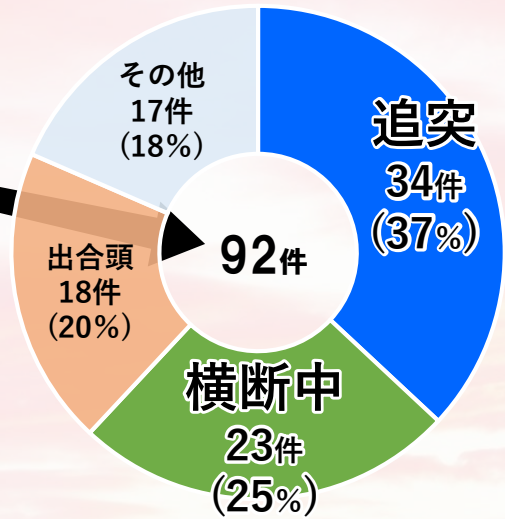
1月の交通事故の特徴

過去5年間(R1~R5)の県内発生交通事故統計データより

薄暮時の事故が最多



追突・横断中の事故が多い



交通事故防止のポイント

早めのライト点灯

薄暮時は、視界が徐々に悪くなり、歩行者などの発見が遅れたり、距離や速度が分かりにくくなります。早めにライトを点灯して、自分の車の存在をアピールしましょう。

急のつく運転の禁止

雪道や凍結路面は非常に滑りやすいため、車間距離はいつも以上に空けて速度を抑え、特に、急発進、急ブレーキ、急ハンドルの「急」のつく運転はやめましょう。

運転に集中

薄暮時は、仕事帰りの時間帯と重なり、交通量が多くなります。また、一日の疲れから注意散漫になりがちですので、運転だけに集中しましょう。

もしもの備えを

大雪のときは、第一に不要不急の外出を控えることを考えてください。スタックや立ち往生に備えて、あらかじめ毛布やカイロ等の防寒グッズやスコップ、飲食物を用意しておきましょう。